

(様式2)

2021年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

I	スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
II	マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
III	スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
IV	日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
V	スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 静岡県 】

学校名【 富士市立須津小学校 】

1 実践テーマ	I・II・(III)・IV・(V) (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	富士市立須津小学校 (6年生 103名)
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (総合的な学習の時間) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目標 (ねらい)	・オリンピック・パラリンピック開催年である今年度、スポーツに対する興味・関心を高め、スポーツを楽しむ心を育てる。 ・パラリンピック競技である「ボッチャ競技」を通し、障害者スポーツへの理解を深める。 ・スポーツの価値への理解を深めるとともに、すすんで平和な社会、共生社会の実現に貢献できる気持ちを高める。
5 取組内容	【図書室でのオリパラコーナーの設置】 オリンピック・パラリンピックの機運を高めるため、昨年度に引き続き図書室に入るとすぐ目につく場所へ、オリパラ関連書籍を並べた。 オリンピック・パラリンピック後には、子どもたちは放映で興味を持った種目に関する本を手にとっていった。 一過性のイベントに終わらせないために、今年度新たに購入した書籍は、基礎的な運動方法を学べる内容のものも含めた。



【授業でのボッチャ競技の継続】



須津小はボッチャ競技を継続して体育授業に取り入れて実施している。毎年、全学年で行っているため、子どもたちはボッチャ競技のルールを覚えており、体育の授業等でグループごと実施しても、自分たち

でジャッジして得点を決定し、試合をすすめることができている。そのため、トラブルにもならず、どの学年も楽しく競技を行っている。また、足を負傷して通常の体育ができない子でも、椅子に座った状態で投球することで参加できるため、みんなで行うことができ大変好評である。

特別支援学級の子もたちもボッチャ競技が大好きなため、体育の授業に取り入れ、楽しく活動している。数を数える学習にもつなげている。



【PTA主催 ボッチャの会】



11月26日(金)の18:00から、PTA体育保健部主催のボッチャの会が行われた。昨年度は新型コロナの影響で地域・保護者・児童・学校職員で実施するボッチャの会が中止され、

今年度も大勢が集まる会の実施は難しいと判断された。しかし、中止が続くと、ボッチャ競技のルールの伝承ができないことをPTA専門部役員の方々が危惧し、少人数ながらルールの伝承を目的に実施した。

当日は、PTA体育保健部の役員をはじめ、中学生も含めた子どもたち、学校職員の有志により実施した。



会の最初に、ルール説明の動画を全員で見ながら確認した後、グループ分けをして実際にボッチャ競技を行いながら、ルールの確認をした。笑顔や歓声があがり、みんなで楽しむことができた。

来年度大勢で実施できるようになったら、今回参加したメンバーが中心となり実施できる自信がついた。

【オリンピック 芦川うらら選手の講演会】

オリンピック・パラリンピック実施の年なので、2020大会に出場した選手に来校してもらえたらと年度当初から考えていた。本校は継続的にボッチャ競技を実施してきたが、新型コロナの影響で選手を呼んで大勢の人と接近する

ことは協会としても慎重となっていたので、ボッチャ競技に出場した選手は呼べないのではと悩んでいた。

そんなとき、富士市出身芦川うらら選手がオリンピック女子体



操平均台に出場することになったということを知り、地元出身の方ががんばっている姿を本校児童にも見てもらいたいと考え、講演会の出演を打診し、快諾を得ることができた。

現役のオリンピックなので、講演の打ち合わせで練習時間を割いて

いただくことは避けたかった。そのため、打ち合わせは芦川うらら選手の母親を通して綿密に行わせていただいた。また、芦川うらら選手のご両親としては講演を行うことが初めてで大変心

配なさっていたので、講演会で投影するパワーポイントにおいても、打合せで確認をした質問内容や提供していただいた画像

をもとに学校で作成し、完成したものを確認していただくようにした。講演会の

日程を決める際には、世界体操以降であればどの要望があったので、終了してひと段落つく11月に設定した。その世界体操女子平均台種目で、芦川うらら選手が金メダルを獲得することとなり、子どもたちは講演会当日になるのを期待して待っていた。

講演会は、11月11日(木)の5時間目を実施した。オリンピック体操女子平均台6位入賞、世界体操女子平均台種目金メ

ダルを獲得した芦川うらら選手は本当に小柄な女性で、会場に入場する際にまず驚いたが、実演をしていただいた際には、非常



に演技が大きく見え、世界一の演技に魅了された。もっといろいろ演技を見せ



ていただきたかったが、本気の演技前にはけが防止のために1時間ほど準備体操を行うことを伺い、素人が簡単に考えて実演していただくことには無理があることを理解した。

講演会では、諦めてしまわないで、コツコツ努力を続けていけば、自分の目標を達成できることを教えていただいた。オリンピック仲間からみ

ても、芦川うらら選手の練習量とはびぬけて多いことは有名であり、豊富な練習量が本番でミスをしないという自信につながっていることも理解できた。

また、練習がいやになり、練習場に着いても「頭が痛い。」「足が痛い。」と

いうように理由をつけて練習を休む時期もあったが、水鳥体操館

の仲間や家族の励ましのおかげで立ち直ることができたという話もしていただいた。世界一になる選手でも、子どもたちと同じように大変なことから逃げたくなる気持ちになったことを知り、自分と同じだと感じ、うらら選手の言葉が子どもたちの心に刻み込まれたのを感じた。



例年通りであれば、6年生だけに限定せず、多くの子どもたちに芦川うらら選手の話をしてほしかったが、新型コロナウイルス感染防止のために、今回のように6年生限定となって残念であったが、6年生のみんなは大変うれしかったようだ。



<p>6 主な成果</p>	<p>【 子どもたちの感想から 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うらら選手の話聴いて、ぼくは挑戦をすることをやめないでがんばります。 ・私も小さい頃からピアノを始めましたが、あきらめずに努力すると難しい曲でもできると思いました。 ・うらら選手は背が低くても演技をするときには大きく見せると言っていたので、ぼくも空手の大会があと1か月だから、型の演武の時には大きく見せると心に誓った。 ・世界チャンピオンまでの道のりは厳しくてやめたいと思ったりすることもあったそうですが、乗り越えていてすごいなと思いました。 ・今日の話で、努力の大切さ、あきらめない心、ひたむきな気持ち、くじけず前を向くこと、などの大切さがよく分かった。学んだことを将来役立てたい。 ・自分もスポーツをやっていて、時々くじけたりあきらめてしまう時があります。今日うらら選手の話聴いて、やっぱりだれしも努力しないとだめなんだと気づかされました。これからは自分が今続けているスポーツを楽しみながら努力をして人一倍がんばります。 <p>子どもたちは、自分事としてとらえ、これから自分がどのようにしていったらよいのか理解できた。</p>
<p>7実践において工夫した点(事業の特色)</p>	<p>せっかくのオリンピックイヤーなので、地元富士市からオリンピックとなった芦川うらら選手をどうしても学校に招くこととした。身近な方が、オリンピックや世界体操で活躍していることを知ることで、スポーツに対する興味・関心が高まった。</p> <p>また、これまで継続して取り組んできた「ボッチャ競技」についても、地域と共に継続して実施できるように計画し、実施した。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>今回、新型コロナの影響で事業計画を立てることが難しく、県教委担当者の理解を得て提出期限を延ばしていただいた。そのおかげで、オリンピックの芦川うらら選手をお呼びすることができた。計画書の提出〆切を例年の期日より遅くしていただくと、思い切った計画を立てることができると考えられる。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>ボッチャ競技に関しては、用具もそろっていて、ルールも子どもたちだけではなく、地域の方々にも広がりつつあることから、継続して取り組んでいく。</p> <p>来年度以降も、今年度と同様な事業が継続されるのであれば、ぜひ参加したい。</p>